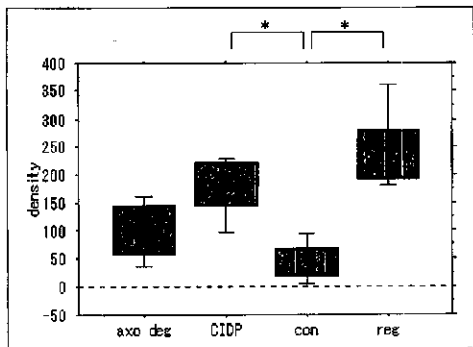


図 神経内鞘内の pCREB 陽性細胞の密度 (/mm<sup>2</sup>)



axo deg: 急性軸索変性群    con: コントロール群    reg: 軸索変性後の神経再生群

\* p<0.01

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山村 隆	多発性硬化症.	杉田秀太 福内靖男 柴崎 浩 監修	先端医療シリーズ14 「神経・筋疾患の最新医療」	先端医療技術研究所	東京	2001	pp153-157
宮本 勝一 山村 隆	糖脂質によるNKT細胞活性化を介した実験的自己免疫性脳脊髄炎(EAE)の治療.	田中正美 湯浅龍彦 編	別冊・医学のあゆみ. 21世紀の神経免疫学	医歯薬出版	東京	2001	pp63-66
山村 隆	臓器特異的自己免疫病のNK/NKT細胞による調節.	今西二郎 淀井淳司 漢長博 山本・彦編	別冊・医学のあゆみ. 免疫疾患-state of arts	医歯薬出版	東京	2002	(印刷中)

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Takahashi K. Miyake S. Kondo T. Terao K. Hatakenaka M. Hashimoto S. and Yamamura T.	Natural killer type 2 (NK2) bias in remission of multiple sclerosis.	J. Clin. Invest.	107	R23-R29	2001
Miyamoto K. Miyake S. and Yamamura T.	A synthetic glycolipid prevents autoimmune encephalomyelitis by inducing TH2 bias of natural killer T cells.	Nature	413	531-534	2001
Maeda M. Lobwasser S. Yamamura T. and Takei F.	Regulation of NKT cells by I.y49: analysis of primary NKT cells and generation of NKT cell line.	J. Immunol.	167	4180-4186	2001
Miyamoto K. Oka N. Kawasaki T. Miyake S. Yamamura T. and Akiyuchi I.	New cyclooxygenase-2 inhibitors for treatment of experimental autoimmune neuritis.	Muscle and Nerve	25	280-282	2002
Gumperz J.E. Miyake S. Yamamura T. and Brenner M.B.	CD1d tetramer staining reveals functionally distinct subsets of human CD1d-restricted NKT cells.	J. Exp. Med.	195	625-636	2002

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
山村 隆、 高橋 和也	多発性硬化症と NK 細胞- NK2 細胞による寛解維持機 構。	医学のあゆみ	198	394-397	2001
山村 隆	多発性硬化症の治療。最近の 動向。	脳と神経	53	703-794	2001
三宅 幸子、 河野 直子、 山村 隆	Cbl ファミリーによる免疫調 節機構の解析。	神経免疫学	9	189-196	2001
三宅 幸子、 宮本 勝一、 山村 隆	NKT 細胞の新規リガンドに よる多発性硬化症モデルの 抑制。	細胞工学	20	1666-1667	2001
三宅 幸子、 宮本 勝一、 山村 隆	NKT 細胞の新規リガンドに よる多発性硬化症モデルの 抑制。	実験医学	20	76-78	2001
山村 隆	多発性硬化症の 動物モデル。 実験的自己免疫性脳脊髄 (EAE)。	Current Insights in Neurological Science			2002 印刷中
三宅幸子、 山村 隆	NKT 細胞と実験的自己免疫 性脳脊髄炎。	Mebio			2002 印刷中